

開進第四中学校における生徒との意見交換会 令和元年7月5日実施

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
1	<p>教育委員会の人事異動は、どれくらいの頻度で何名ぐらいの人数が異動するのでしょうか。</p>	<p>教育委員会は、教育長と4人の教育委員の5人で構成されています。任期は、教育長が3年、委員が4年です。それぞれ、3年もしくは4年ごとに変わることとなりますが、再任とって、続けて選ばれることもあります。実際に、練馬区でも3回再任され、16年間教育委員を務めた方がいました。</p> <p>どのくらいの頻度で何名が変わるのかということですが、5人の任期はずらして、一度に何人も変わることをないようにしています。概ね1年に1名の頻度で、再任されることもあります。委員が変わることになります。</p> <p>また、教育や子育てに関する仕事は種類も量もとても多いので、この5人のほかに「教育委員会事務局」が置かれています。この事務局には、職員が約2,000人いて、毎年4月に4分の1ぐらいが異動しています。また、事務局の職員以外にも練馬区立の幼稚園、小中学校の先生が約2,500人いて、毎年4月に6分の1ぐらいが異動しています。</p>
2	<p>教育委員会は、日頃どのような仕事や活動をしているのでしょうか。また、教育委員会で一番大変な仕事は、何でしょうか。</p>	<p>教育委員会事務局の仕事は、生まれてから18歳になるまでのいろいろな場面、保育園や幼稚園、小中学校、児童館などたくさんあり、約2,000人の職員が多くの仕事をそれぞれ担っています。また、教育委員会で、教育長と4人の教育委員が会議をして、事務局の報告を受けたり、重要な方針を決めたりしています。</p> <p>つぎに、教育委員会の一番大変な仕事ですが、やはり、みなさんが使用する教科書を選ぶことが何よりも大変な仕事だと思います。今年は、来年度から小学校で使用する教科書を選ぶ年になります。現在、各出版社がつくった1年生から6年生の全教科の教科書、約300冊を読み比べて、どの出版社の教科書が練馬区の子供たちにとって望ましいか考えているところです。</p>
3	<p>高等学校では、授業でタブレットを使用しようしていますが、中学校ではまだでしょうか。</p>	<p>練馬区では、みなさんが興味・関心を持って、勉強しやすい授業をするためにICT機器を整備することを考えています。教育用のICT機器を授業で活用することで、映像を見る、音声を聞く、音にあわせて体を動かすことができるなど、みなさんにとって、よりわかりやすく楽しい授業になります。</p> <p>例えば、理科の時間では、学校ではできないような、大掛かりな実験の映像を映すことで、みんなで観察することができるようになります。また、英語の時間では、英語の歌や音楽を楽しみながら勉強することができるようになります。</p> <p>こういったわかりやすい授業を実現するための第一歩として、今年の夏には小中学校全校で大型のディスプレイや書画カメラなどを導入します。二学期からインターネットやデジタル教材の画像や動画を授業で使えるようになる予定です。</p> <p>タブレットパソコンについても導入に向けて、みなさんにどういうふうに使ってもらえば、より効果的な授業ができるかななどを、今年度研究し、来年度から配備を始める予定です。</p>

	質問・要望(要旨)	回答(要旨)
4	<p>練馬区では、第2土曜日に授業がありますが、なぜでしょうか。</p>	<p>練馬区では、現在1年間に8回、第2土曜日に授業を行っています。 みなさんの保護者が子供の頃は、日本全国、どの学校でも、全ての土曜日が授業日でした。その後、家族と過ごしたり地域の行事に参加したりする時間を増やすことが目的で、次第に土曜日の授業が減っていき、今から17年前に全国的に全ての土曜日がお休みとなりました。一方、土曜日の授業がなくなった分、「子供たちに勉強をしっかり教えるための授業時間が足りない。」という声が挙がるようになりました。そこで、練馬区では7年前の平成24年度から年8回の土曜授業をするようになったのです。 では、なぜ第2土曜日なのかというと、第2土曜日が最も学校がお休みの日と重ならず、8回の土曜授業が確実に実施できるからです。第1、第3、第4土曜日を授業日にとすると、夏休みや冬休みと土曜日が重なる可能性が高くなるため、夏休みや冬休みの影響を一番受けにくい第2土曜日に授業を行うことになりました。</p>
5	<p>中学生には選挙権がないのに、選挙啓発のポスターを描きます。それは、なぜでしょうか。</p>	<p>現在、中学生のみなさんには選挙権がありませんが、18歳になると選挙権をもつこととなります。公職選挙法が改正され、選挙権をもつ年齢が20歳から18歳に引き下げられました。あと3年後または4年後には、みなさんも投票ができるようになります。 平成29年の衆議院議員総選挙の投票率は、有権者全体の約5割でした。年代別に見ると、10代の投票率は約40%、20代は約34%で、特に若い世代の投票率が低くなっています。この若い世代の投票率をいかに高めるかということが課題になっています。 そこで、より多くの方が投票に参加し、選挙を通じて私たちの意見が政治に反映されるよう、様々な取組がされています。そのうちの 하나가、「明るい選挙啓発ポスターコンクール」です。みなさんが描いたポスターを見ることで、選挙に行き投票しようとする有権者が増えることが期待できます。また、近い将来、有権者になるみなさん自身にも選挙や投票について興味をもってもらいたいという願いが込められています。みなさんも18歳になったら、有権者として投票することで、政治に参加してほしいと思います。</p>
6	<p>昨年度、開進第四中学校の体育館には、エアコンがつけました。なぜ、武道場にはつけないのでしょうか。</p>	<p>練馬区では、平成20年度にみなさんが普段使っている普通教室にエアコンを設置しました。また、平成26年度には、音楽室などの特別教室にもエアコンを設置し、より快適な環境の中で学習できるよう学校の設備の充実に努めてきました。 つぎに、全区立小中学校98校体育館にエアコンを設置することとしましたが、年間にできる工事の数や工事に要する経費には限りがあるため、7年間かけて順番にエアコンを設置することにしました。 開進第四中学校では昨年度、体育館にエアコンを設置しています。これは、区立中学校33校の中では2番目となります。残りの31校の体育館についても、できる限り早くエアコンを設置して、開進第四中学校同様、学校の活動の場としても、避難場所としても、良好な環境となるようにしたいと考えています。このため、まずは全小中学校の体育館へのエアコンの設置を最優先に行っていくこととし、武道場へのエアコンの設置については、体育館へのエアコン設置の見通しがついた後、武道場の使用状況や先生方の意見を聞きながら検討していきます。</p>